



プラネタリウム投影機



小学校には学習型プラネタリウム 布製カサ型の簡易プラネタリウムです。ドームに写しだされた星座を勉強しているのは、山口県下松市豊井小学校のお友だち。ドームは直径5m、高さ4mの半球体ですが、50人くらいにはいれます。

プラネタリウム

プラネタリウムは、人工の星空をまるでほんとうの夜空のように暗い大ホールのドームに写し出す装置です。プラネタリウムには、いくつものレンズがついていて、今夜の星空をはじめ、百年千年もの大むかしの空や未来の夜空も、北半球・南半球のありとあらゆる場所から眺められる星空まで写し出すことができます。また、太陽や月、それに火星・金星など惑星の動き、すい星・流星雨など、さまざまな天体の現象まで、こまかく見ることができます。今から30数年前、1923年にドイツのカール・ツァイス社がつくったのがはじめてで、日本でも1937年3月に、はじめて大阪の電気科学館にとりつけられました。現在、日本には4か所のプラネタリウムがあり、4季を通じて美しい星空を見せてくれます。上の写真は、東京渋谷東急文化会館の五島プラネタリウムです。